

プログラム名	小学校プログラミング教育 無償サポート		
団体名	NPO 法人鴻鵠塾	区分	教
対象者	小	対象分野	学校
			学校の授業で活用できるプログラミング学習教材の提供と、指導サポート

プログラムのねらい

- すべての小学校でプログラミング教育を実施するために教材・コンテンツなどを無償でご提供
- 利用方法も動画で教材が準備されているため先生が専門知識・予習復習などなく授業が可能
- オープンソースであるスクラッチをベースに 1000 ページ以上の教材が出来ており、もう 5 年以上の実績があるプログラムのご提供

プログラムの内容 必要コマ数 8 時間

先生が専門知識・予習復習なく授業が実施できるように指導動画、指導ガイド、テキスト教材を無償でご提供します。

1. 指導動画



2. 指導ガイド

プログラミング for school 「ニュース番組を作ろう」

対象学年・・・小学校、4年生
対象教科・・・図画工作・総合学習の時間等
時間数・・・4～8時間

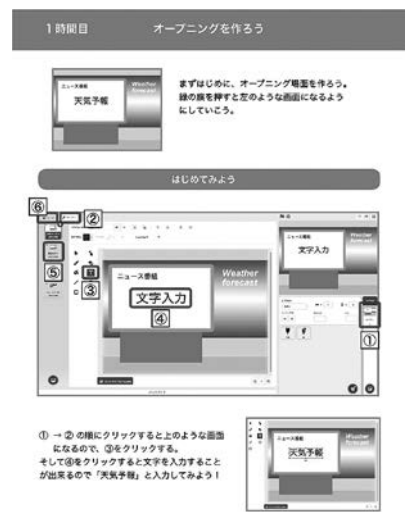
1時間目「オープニングを作ろう」
2時間目「番組をスタートさせよう」
3時間目「ちょうけい風の場面を作ろう」
4時間目「番組の終わりを作ろう」
5～7時間目「子どもたちの作品を作ろう」
8時間目「作品を公開しよう」

狙い目
Scratch を利用してプログラミングの基本的な知識を身につけながら、情報を発信することの意義や配信されたことへの感謝を体験するとともに、主体性やびへの意識を向上させ、ICT を活用した情報の収集・発信の方法やルールを理解する。トライ＆エラーの習慣を身につけ、失敗に早く「気付く」「分析する」「修正する」ことの必要性を理解する。

指導内容
1時間目「オープニングを作ろう」

本時目標	児童の活動
作品全体を見てプログラミングの順序をイメージする。Scratch の使い方に慣れる。メッセージボックスの使い方・使い方を理解する。【前提・知識・準備】	
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 授業のねらいを確認 「オープニングを作ろう」で作品の全体像をイメージさせる。 作成後に子どもたちの作品を存することを伝えおく。 「ちょうけい風を見よう」で使い方の手順を説明し、 「はじめてみよう」でテキストの手順に合わせて文字入力の手順を確認させる。 「文字入力が出来たら」ブロックをつげよう」を説明させる。 「メッセージボックスを理解しよう」でメッセージの作り方とその使い方について説明。 メッセージボックスを使うことで「実行するタイミングが変更可能」が出来るようになることをイメージさせる。
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> 「オープニングを作ろう」で用意しているニュース番組の名称やメッセージボックスの使い方について発表してもらう。 メッセージボックスの作り方を確認する。 メッセージボックスで出来るようになることをイメージさせる。

3. テキスト教材



令和 2・3 年度実績	<input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (令和4年9月より広島市、福山市、庄原市、名古屋市、秦野市等で利用開始予定)
	令和2年度実績 (都内) 校 (回) 令和3年度実績 (都内) 校 (回)
	<input type="checkbox"/> 教科 () <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 (クラブ活動、生徒会活動等) <input type="checkbox"/> 教育課程外 (放課後子供教室、夏休み等の長期休業期間等) <input type="checkbox"/> 教員対象研修 <input type="checkbox"/> PTA 等保護者対象研修 <input type="checkbox"/> 学童クラブ・児童館等のイベント <input type="checkbox"/> その他 ()

支援活動の概要紹介

鴻鵠塾は、2008年から高校生や大学生のキャリア支援を実施して参りましたが、メンバーの多くに子供が生まれたこともあり、今年からは「すべての子どもに家庭・地域格差なく平等に健康(知育・体力)向上の環境作り」を目指す活動も行っております。国も企業もDX人材作りを急務に進めておりますので、私たちも日本一の教材を持っている団体と一緒に今回の小学校へのプログラミング教材の無料配布の活動を行っております。

対応可能な時期	日程が合えば随時可能	必要経費	無料 スタッフを派遣する場合は要相談。
その他 会場・定員・必要備品などについて	生徒用の PC、指導用の大型モニター。		
連絡先	部署名・担当者	代表理事 萩原 知祥・創設者 上田 圭祐	
	プログラム紹介 WEB		
	電話	080-4297-0020 / 090-6016-0084	
	e-mail	toshi.h0920@gmail.com / ueda@koukokujyuku.org	